

2010年度（第14回） 神戸大学ボランティア講座 受講生募集要項

[日程]

- 講義等 …………… 2011年2月20日（日）
体験実習 …………… 2011年2月22日（火）～3月20日（日）の内3～4日間
意見交換会 …………… 2011年3月23日（水）

[会場]

- 講義等 …………… 神戸大学瀧川記念学術交流会館
体験実習 …………… 協力団体の各施設
意見交換会 …………… 神戸大学鶴甲第1キャンパス K402 教室

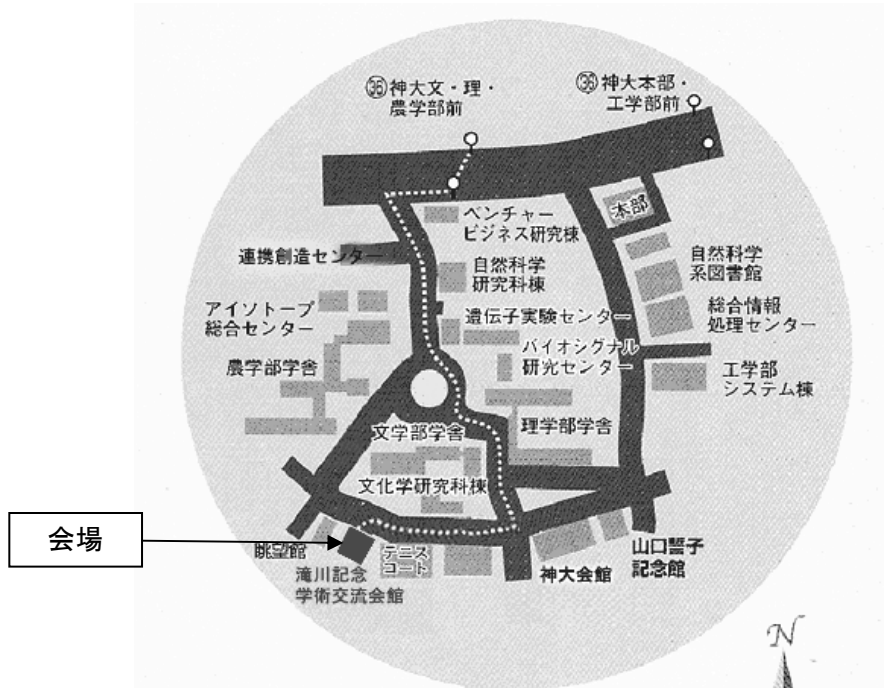
主催： 神戸大学学務部
都市安全研究センター学生ボランティア支援室
協力： 神戸大学学生震災救援隊
神戸大学総合ボランティアセンター

※受講申込書は、この募集要項の最後に綴じ込んでいます。

会場案内

■2011年2月20日（日） 講義等会場：瀧川記念学術交流会館

【交通アクセス】阪急六甲・JR 六甲道・阪神御影の各駅より、神戸市営バス 36 系統乗車、「神大文・理・農学部前」バス停にて下車、南に徒歩 5 分（下地図参照）。



■2011年3月23日（水） 意見交換会会場：鶴甲第1キャンパス K402

【交通アクセス】阪急六甲・JR 六甲道・阪神御影の各駅より、神戸市営バス 16 系統乗車、「神大国際文化学部前」バス停にて下車、徒歩 5 分（下地図参照）。



1. 講座趣旨

本講座は、神戸大学生が課外でのボランティア活動や社会活動などを通じて、キャンパスの中だけでは得られない社会の実際に即した学びを得ることを目的としています。この講座の原点である1995年の阪神・淡路大震災に際しては、多くの神戸大学生が地域での救援ボランティア活動に従事し、被災した人々と真摯に向き合う中で、地域に存在するさまざまな社会的課題に気づかされ、自分の生き方や社会的役割そのものを問われる経験をしました。これを契機に、被災地にある総合大学として、神戸大学はこのような真摯な学びの場を提供し得る学生による課外での社会活動の重要性を認識し、その推進と支援を目的として1997年度より本講座を実施してきました。

なお、本講座は神戸大学学務部と神戸大学都市安全研究センター学生ボランティア支援室の連携のもと、本学学生サークル「学生震災救援隊」「総合ボランティアセンター」の協力を得て企画実施するものです。

2. 本年度テーマ 「つながりあう・支えあう」

本年は「つながりあう・支えあう」をテーマに設定して本講座を実施します。

人は「つながり」の中で生きていますが、普段はそれを強く感じることはないかもしれません。しかし、阪神・淡路大震災のような大きな自然災害に襲われ、家族を亡くしたり、仕事を失ったり、親しんだ地域社会が無くなると、それまで自分を支えていた「つながり」のかけがえのなさを強く感じます。

自然災害以外でも「つながり」が奪われることで人はしんどくなったり、つらくなったりして追い込まれます。何らかの理由によって学校に行けない子どもたちは、そのことによって家族とぎくしゃくし、家族との「つながり」をも失って追い込まれてしまうことがあります。失業などがきっかけで、家族などとのつながりも失い、野宿生活に追い込まれる人々もいます。文化や言葉、制度の問題で、日本人なら当たり前の学校や職場、地域社会の「つながり」から排除されてしまう外国人の方々もいます。

つながりを奪われて苦しむ人々に、ボランティアは何ができるのでしょうか。

本講座では、「子ども・若者」「在日外国人」「野宿者」「佐用町水害の被災地」「神戸の被災者・高齢者」の5つの分野で出会う人々の「つながり」を考え、自分は、ボランティアは、その人をどうしたら支えることができるのかを考えることを目的としています。さらにこの講座を通して、参加者自身を支えている多様な「つながり」についても考えてもらえればと思います。現場では「ボランティアをしている自分の方が助けられている」という言葉が聞かれることもあります。それは、ボランティアをすることでできた「つながり」が、その人を支える、かけがいのない関係になっているからです。

そんな素敵な「つながり」のきっかけが、この講座から生まれることを願っています。

3. 概要

- ◎定員 60人（20日の講義のみ一般参加を含め100人）
- ◎対象者 主に神戸大学生（講義は一般公開。学外者の実習参加はお問い合わせ下さい）
- ◎受講料 無料
- ◎申込方法 巻末に綴り込んである「受講申込書」に必要事項を記入し、体験実習分野と日程を選択のうえ、2011年2月14日（月）午後5時までに学務部学生生活課学生相談係、学生ボランティア支援室、各学部・大学院各研究科教務学生担当係のいずれかに提出してください。
- あるいは以下のURLからWordファイル形式の「受講申込書」をダウンロードし、別名で保存（申込者氏名が望ましい）し、必要事項を入力の上、メールに添付してsvs@port.kobe-u.ac.jpまで送信しても申込できます。
- URL <http://www.org.kobe-u.ac.jp/svsc/v2010m.doc>
- ◎会場 講義は瀧川記念学術交流会館で実施。実習は各受入先で実施。意見交換会は鶴甲第1キャンパスK402教室などで実施。

◎講座内容

I 総論・入門編としての講義等 2011年2月20日（日）10:00~17:00

- ① 開講挨拶（10:00~10:20）
- ② 講義『『不良』ボランティアが社会を変える一支援あいの実践知』（10:30~12:00）
講師：村井 雅清 氏（被災地NGO協働センター代表）
- ③ パネル討論「ボランティアが創る新しいつながり」（13:00~16:00）
司会：藤室 玲治 氏（神戸大学都市安全研究センター学術推進研究員）
パネリスト：各実習現場関係者より1名ずつ（5分野5名）
- ④ 実習ガイダンス（16:15~17:00）
体験実習の分野ごとに分かれ、実習先の紹介と実習先が取り組んでいる問題に関する簡単なガイダンスを行います。

II 体験実習 2011年2月22日（火）~3月20日（日）のうちの3~4日間

各実習先の協力を得て、上記の期間内に体験実習を行います。体験実習は①「学校外の子ども」②「在日外国人」③「野宿者」④「神戸の被災者・高齢者」⑤「佐用町水害の被災地」の5分野で、受講者が選択（第1および第2希望を申込時に記入）した、いずれかひとつの分野で体験実習を行います。

定員に達した分野については先着順で〳〵切ります（特定の分野を強く希望する場合は早めにお申込み下さい）。逆に、定員に空きがあれば、希望者は第1希望分野以外に第2希望分野の実習にも参加可能です。各分野の詳細については6頁をご参照下さい。

Ⅲ 意見交換会 2011年3月23日(水) 10:00~18:30

体験実習などを中心に意見交換及び情報提供などを行い、より深い問題意識などを養うことを目的とし、次の内容により行います。

- ① グループ内討論 (10:00~12:00)
- ② 発表・全体討論 (13:00~17:30)
コメンテーター：各実習現場関係者より1名ずつ(5分野5名)
- ③ 講評 (17:40~18:00)
- ④ 閉講のあいさつと講座修了認定証配布 (18:00~18:30)

◎ボランティア保険の加入について

体験実習に参加する場合は、ボランティア保険に加入します。未加入の方は2月20日(日)の本講座受付で加入手続き(加入料：50円)を行ってください。

◎交通費・宿泊費について

⑤「佐用町水害の被災地」以外の分野では、実習先に行くための交通費(定期券等が重複していない区間のみ)は一人当たり1,000円を限度に支給されます。実習時に請求書に記入して実習終了後、実習グループ代表に提出し、3月23日(水)の意見交換会の際に受け取ることになります。

2泊3日で実施する⑤「佐用町水害の被災地」分野については、大学の借り上げたバスで移動するため、交通費は必要ありません。宿泊費も不要です(ただし、現地での食費は自己負担)。

◎レポートの提出について

受講者は、初日の講義と現場実習に関するレポート2本を3月21日(月)までに提出して頂きます。提出されたレポートは、「神戸大学学生ボランティア講座報告書」に原則として原文のまま掲載し、印刷・公表します。それにより受講者、協力者及び協力団体へのフィードバックと、将来の大学活動での活用を図ります。

◎修了証の交付について

受講状況などの所定の要件を満たし、レポートを提出したのものには、修了証を交付します(単位の認定は行いません)。

問い合わせ先：

【学務部学生生活課】

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 神戸大学学務部学生生活課学生相談係(藤原)
TEL：078-803-5227 FAX：078-803-5209 E-mail：stdnt-gkmsodan@office.kobe-u.ac.jp

【学生ボランティア支援室】

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 神戸大学学生ボランティア支援室(藤室)
TEL：078-803-6256 FAX：078-803-6028 E-mail：svs@port.kobe-u.ac.jp